

おむすび校長・一柳泰造さん 障がい者により高い工賃を

一柳 泰造
1974年、門司区風師生まれ。山口県下関市の中学校の卒業。高校を2か月で中退。その後、居酒屋の経営を経て、「PIVOT」や障がい者支援事業所を設立。目標は「死ぬまで働く」。



一柳 泰造さん(左)と吉村はるか(右)

吉村はるか訪問記

【発行者】
自民党福岡県第十選挙区支部

吉村はるか
後援会事務所
〒802-0802
北九州市小倉南区域野4-1-30
TEL:093-951-5757
FAX:093-951-5758

門司事務所

〒800-0031
北九州市門司区高田1-18-1
若菜ビル
TEL 093-342-7170

活動発信中!



遺品整理や特殊清掃を手

がける一柳泰造社長は、障がい者を安定的に雇用するだけでなく、より高い工賃を支払える仕組みづくりに工夫を重ねています。廃校になった門司区白野江の校舎を利用、障がい者らとともにトラウトサーモン養殖にも取り組んでいます。一柳さんに障がい者雇用への思いなどをお聞きしました。(敬称略)

吉村 遺品整理はいつごろから始めたのですか。
一柳 旦那市場(小倉北区)で経営していた居酒屋の2階を利用、「便利屋」のような仕事を始めました。2015年に「PIVOT」を設立、北九州市から一般廃棄物収集運搬業の許可を受け、引っ越し後の片付けやエアコン清掃もしています。

吉村 孤独死された方の部屋を清掃することもあるそうですね。北九州市の一人暮らし世帯数は4割を超えています。亡くなっても周囲が

気づかないこともありますね。
一柳 孤独死した方の清掃を100件以上もしています。遺体が腐敗すると、強烈な死臭が発生します。普通のハウスクリーニングでは対応できません。オゾン消臭による除菌消臭、傷んだ床板のリフォームまで引き受けています。

この10年の遺品整理で感じるのは、家族の結び付きが希薄になったことです。遺族が部屋のカギだけを送ってきて、「適当に処理して」と言う方もいます。つながりの薄さが孤独死につながっているのかもしれないですね。

吉村 障がい者支援の事業所を設立したきっかけは。
一柳 扱った案件の中には障がい者が孤独死したケースもありました。そのなかで、障がい者の収入が驚くほど少ないことも知りました。収入を確保すること

で、孤独死を防げるのではないかと考えたのです。
吉村 障がい者のなかには、一般企業での就労が難しい人もいま

す。体調に波がある方もいることを踏まえ、作業に応じた「工賃」を支払うB型事業所「SEO ささえあい」を設立しました。B型事業所が支払うのは賃金でなく、作業に応じた「工賃」です。遺品整理で、廃棄される品物のうち、使える電化製品、分解後の基板や鉄などを販売、工賃の底上げを図っています。

吉村 22年の統計ですが、全国の平均工賃は月額1万7031円。時間給にすると243円です。一柳さんの事業所では時間給が600円を超えるという聞いています。

一柳 工賃は福岡県でも高い方だと思います。あいさつができる、欠勤の際に、きちんと連絡できることなどを採点、昇給にも反映させています。

吉村 教室では、サーモンの養殖も手がけていますね。
一柳 直径3メートルの水槽を据え付け、独自に製作したくみ上げポンプ、ろ過装置などを使っています。将来的に

水槽を4基まで増やし、採算ベースに乗せたいですね。名前も「関門サーモン」にしました。

吉村 校舎内には楽器や木刀、模造銃などがあります。
一柳 アニメや漫画、ゲームのキャラクターになりきる「コスプレ」会場として貸しています。学校を舞台にしたアニメや漫画もあり、好評のようです。遺品整理のなかで見つけたものを写真撮影の小道具として取り置いているのです。

コスプレのほか、障がい者だけの成人式やダウン症の女性の結婚式も企画しています。普通の成人式で、チック症やてんかんといった症状が出ると、周囲が慌てしてしまうので、参加しにくいのです。引きこもりの人が、人前でドレスを着たことで、ハンドマッサージの仕事をするようになったケースもあります。

吉村 名刺の肩書が「おむすび校長」となっていますね。

一柳 人と人との結び付きのおかげで、いろいろな事業に取り組みことができたので、この名刺にしました。

吉村 障がい者を支える取り組みに頭が下がります。だれでも社会との接点を持つ必要性がよくわかりました。お話しありがとうございました。